

ケーススタディー： オリンピア複合クリニックでの導入



Olympia Multi-specialty Clinic



お客様概要



オリンピア複合クリニック (Olympia Multi-Specialty Clinic, OMC) は、消化器・心臓・肝臓疾患を専門とする医療サービスを提供しています。米国ワシントン州のオリンピア周辺に3つのクリニックを運営し、当クリニックを信頼する患者の方々が、ヘルスケアの必要に応じて定期的に訪れています。OMCの8人の医師はそれぞれ一日に20~40名の患者を診ています。

チャレンジ

成長しつつあるビジネスではよくあることですが、OMCは事務手続きの手間を軽減し、スタッフがより多くの時間を患者さんのために使えるしぐみを模索していました。ペーパーワークは、常に患者情報を最新に保たなければいけない医師にとっても、また似たようなフォームへの記入を繰り返し求められる患者さんにとっても、悩みの種でありました。実際、医師たちは患者情報履歴のため、色々なフォームやフォルダーを探し回るのにかなりの時間を費やしていました。

ソリューション

OMCはトランスクリプションプロセスの中でのボトルネックである、カルテの検索・レビューを効率化するフォーム志向ソリューションを検討していました。

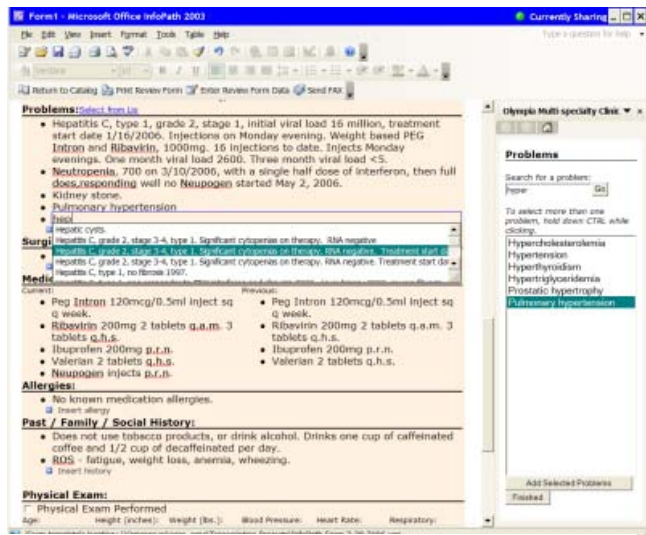


図1: トランスクリプションの入力リストからの選択、自由入力のいずれも可。オートコンプリート機能もあり。

QdabraはMicrosoft Office InfoPath 2003テンプレートソリューションによりOMCのデータ入力合理化を実現。既存のデータソースと新しいプロセスを統合し、そのデータを更なる利用、たとえばラボ検査依頼書などでも活用できるようにしました。また、患者さんは来院のたびに、いつも同じ問診表に記入する労から開放され、当InfoPathソリューションで提供されるプリントアウト上の前回までの情報をチェックして、変わったところだけを書き足せばよいようになりました。この新しいトランスクリプションシステムは、OMCの従来からの患者管理システムと統合されていますが、Windows XPプロフェッショナル及びOffice InfoPathの上で走る単体システムとしても使用できます。

お客様からのフィードバック

新システム導入後一年の段階で、ハイテクに精通した医師のみならずどちらかといえば敬遠していた医師たちも、このシステムのもたらすメリットには抗えずに、進んで利用しました。

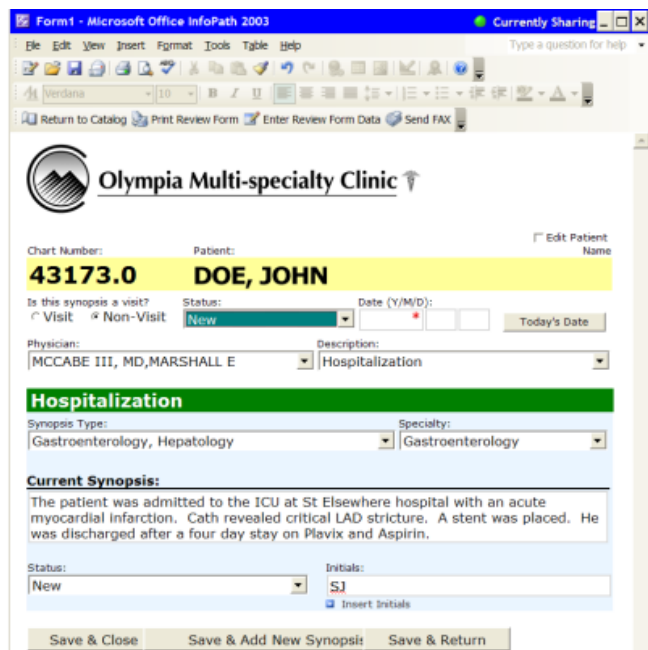


図2: 入院依頼書フォームの種類に応じて必要なフィールドのみが表示される。

オリンピック複合クリニック マーシャル・マカビー医学博士



「InfoPath 及び Qdabra Database Accelerator をベースに、Qdabra 社は当クリニックのために、現場診断及び電子医療トランスクリプションアプリケーションを構築しました。看護スタッフや内科医が、服用中の薬・アレルギー・家族の病歴・諸問題など患者の情報を入力します。

医師はその後、最近の経過・観察結果・今後のプランなどを書き取ります。すべてがオンライン化されているので、クリニック内のどのワークステーションからでもチェックしたり、記述を追加したりできます。時には、自宅からも...家族と一緒に過ごす時間を確保して、その後ちょっとした仕事を夜済ませることもできるようになりました。

来院2回目以降の患者さんは、前回来訪時に申告した情報が印刷されたフォームを渡されます。白紙のフォームに医療歴・薬の服用歴を毎回記入させられるようなことはなくなりました。



医師が必要事項を記入して、記述を完成させたら、トランスクリプションリストがフォームを開きます。トランスクリプションリストがタイプしなければいけない量が格段に減ったのみならず、新しいフォームのリストに簡単にアクセスできるので、トランスクリプション管理システムとしても有効です。

おかげでトランスクリプションの作成と評価プロセスが大変効率的になりました。忙しい医師の時間を有効活用するのに役立ちます。その上、以前よりずっと複雑なフォームも扱えますし。

このソリューション (DBXL) は導入以来2年以上、一度も落ちることなく稼働を続け、3万以上のフォームを50人のスタッフ及び医師が活用しています。」

... Marshall McCabe III, M.D.

DBXLソリューションのメリット

- パフォーマンス及び信頼性の向上
- SQL Reporting Services 機能で、自由に検索やレポート作成
- 変更履歴を保持して、セキュリティや規則コンプライアンスを実現(HIPAA, Sarbanes-Oxley など)
- 簡易ワークフローの実現
- 細かなアクセス制御
 - ドキュメント単位のアクセス制御、ワークフローの段階に応じたアクセス制御が可能
- SharePoint との統合
 - DBXL Web パーツを利用して SharePoint 内にフォームのカタログ表示を容易に実現。フィルタリングやグループ化も自由に
 - カスタム UDCX ファイルで Form Services と統合可
- Microsoft Active Directory との統合
- タクソノミーテーブル・タグ付けによる分類と検索が可能
- コードを書かずに、InfoPath フォームと SQL Server の連携を実現
- 迅速な開発が可能

About Us, Qdabra

コミュニティ+コンサルティング+製品+サービス

私たち Qdabra (キューダボラと発音します) は、InfoPath の専門知識や経験を共有し、InfoPath コミュニティに貢献してきました。

Qdabra は InfoPath の知識・経験とともに、世界中で最も優れた専門家集団です。2007 年度 Microsoft InfoPath MVP は世界中でわずか9名ですが、うち5名が Qdabra のメンバーです。

コンタクト : SalesJapan@qdabra.com

Qdabra™ Database Accelerator for Microsoft® Office InfoPath™

こちらより無料お試し版をダウンロードできます

www.Qdabra.com/jp/

Copyright © 2006 Qdabra Software. All rights reserved.
このドキュメントは情報提供の目的のために発行されています。

Qdabra Software は、明示的にも黙示的にも、このドキュメントにおいて一切の保証をしません。すべてのソフトウェアは、使用許諾契約書にしたがって提供されます。Qdabra™は、Autonomy Systems LLC. の米国およびその他の国における商標です。その他のすべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。